

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	《街路新設改良事業》							担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	道路課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	道路係			
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		23 道路		1 道路整備を進める					
		副目的	21-5		22-5							
	予算区分	款	8	項	4	目	2	大	4	中		
	根拠法令・個別計画	道路法、都市計画法、土地収用法、河川法										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/> 地域住民組織			<input type="radio"/> 一部又は全部委託				
		指定管理・外郭団体			名称:							
		NPO・その他			名称:							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	都市計画道路や幹線道路の整備を計画的に進め、地域住民の交通の利便性・安全性を高める。											
内容 (手段)	市道宮前4号線の用地買収が完了し、平成23年度末の供用開始に向け工事を発注した。 市道小牧市之久田線の事業用地取得A=148.06㎡、歩道暫定整備L=43m。 都市計画道路北島藤島線の橋梁上部工を整備した。 都市計画道路一宮舟津線の事業用地取得A=562.01㎡。 職員は、権利者への事業説明や工事の設計積算及び施工管理を行う。											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
コスト	直接経費		千円	241,331	405,634	663,000
	正職員	従事者数	人	0.94	0.98	0.97
		人件費	千円	5,043	5,257	5,204
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0
	費用合計		千円	246,374	410,891	668,204
	対前年比		%		166.7	
財源	一般財源		千円	178,154	332,871	498,191
	国・県支出金		千円	68,220	78,020	170,013
	その他財源		千円	0	0	0

業	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23
		(仮称)小牧駅前線(第3-1工区)宮前4号線新設改良事業の用地取得率	%	目標		96	100
				実績	96	100	
		(仮称)小牧駅前線(第3-2工区)小牧市之久田線新設改良事業の用地取得率	%	目標	69	76	100
				実績	69	76	
		北島藤島線新設改良事業の用地取得率	%	目標	61	61	91
				実績	61	61	
績	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23
		(仮称)小牧駅前線(第3-1工区)宮前4号線新設改良事業の整備率	%	目標	0	0	100
				実績	0	0	
		(仮称)小牧駅前線(第3-2工区)小牧市之久田線新設改良事業の用地取得率	%	目標	69	76	100
				実績	69	76	

事業の自己評価(一次評価)	事業目的の達成状況	(仮称)小牧駅前線(第3-1工区)宮前4号線については、未買収地を土地収用法の適用により手続きを進め平成22年度に取得し、事業用地の買収が完了した。 (仮称)小牧駅前線(第3-2工区)小牧市之久田線については、着実に用地を取得し、用地取得完了した箇所には暫定の歩道整備を行った。 北島藤島線については、着実に用地を取得し、岩倉市境の五条川に架ける橋梁の整備を行っている。		
	事業を廃止・休止したときの影響	市民生活において、必要な道路が整備されないため、交通の利便性・安全性の向上が図れず、交通事故等を誘発する可能性がある。		
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	事業執行にあたって、既にコスト縮減を図っており、また、交通の利便性・安全性の向上を図る上において、計画的に都市計画道路や幹線道路の整備を行政が積極的に進める必要があるため。		
	今後の事業の方向性(今後の取組み・改善計画等)	用地交渉が難航している権利者に対して、引き続き事業の必要性を十分に説明し、事業進捗が図れるように取り組んでいく。		

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)	
	判定理由	一次評価のとおり		